



日ごろの備えが命を守る

9/4(日)
**神奈川県・松田町合同
総合防災訓練を実施します**

もしもの災害に備えて

東日本大震災発生から約5カ月が経とうとしています。被災地では未だ避難所生活を余儀なくされている方がいらつしやいますが、少しずつ復興が進んでいます。

松田町は東海地震防災対策強化地域の指定を受けており、また、神縄・国府津―松田断層帯の地震の発生も懸念されるなど、地震災害には特に備えが必要です。そこで「自助・共助・公助の連携により災害に強い町に」をスローガンに総合防災訓練を毎年実施し、「もしもの災害」に備えています。今年も9月4日(日)に県との合同訓練として国の機関や民間団体など約100団体が参加し、酒匂川町民親水広場を中央会場とし、地域会場として町内4か所、足柄上合同庁舎グラウンドなど町外にも対象地区を広げ、大規模な訓練を実施します。

▲昨年、実施された神奈川県間市の合同防災訓練の様子



▲昨年、城山自主防災会で行われた土嚢づくり



消火器の取扱訓練▶

中央会場

酒匂川町民親水広場

●主な訓練内容 午前10時～12時

自主防災組織と消防団による避難、消火、救出・搬送訓練、航空機等による情報収集・伝達、応急架橋、負傷者搬送訓練、多重衝突現場における救出救助、緊急交通路確保、交通路応急復旧訓練、新十文字橋上からの救出救助、災害救助犬を活用した救出救助訓練、医療救護活動訓練、ライフライン応急復旧活動訓練、展示コーナー(午前9時～)等

地域会場

●町役場本庁舎《災害救援ボランティア支援センターの開設運営訓練》

町社会福祉協議会と連携してボランティア支援センターを開設します。町内で被害を受けた個人宅や各種施設からの要請に基づき、支援センターの斡旋でボランティア希望者を派遣する訓練です。

●町民文化センター《多数遺体取扱訓練》

多数遺体収容施設を開設し、遺体の収容、受付、検視、検案、身元確認等の訓練を行います。

●神奈川県立足柄上病院《災害医療拠点病院連携訓練》

DMAT(災害派遣医療チーム)と連携し、災害時の医療拠点としての役割を確認する訓練を行います。

●みやま運動広場《孤立地域対策訓練》

ヘリコプターによる救助訓練を行います。

●神奈川県立足柄上合同庁舎《中高層建物の消火と救出救助・ヘリコプター離発着訓練》

当日は自衛隊や警察、消防のヘリコプターが巡回し、会場では拡声器による放送もあり、さらに周辺の交通規制も行われます。ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。見学は自由ですが、会場周辺は混雑が予想されますので、車での来場はご遠慮ください。また、気温の上昇による熱中症の恐れがありますので、暑さ対策には十分ご留意ください。